

授業科目名	子どもと環境(2100224)		
時間割名	子どもと環境(35101)		
時間割担当	岡野聡子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

乳幼児期は、学校の一斉授業のように知識や技能を教えられて身に付ける時期ではなく、自分の興味や欲求に基づいた直接的・具体的な体験、つまり「遊び」を通してさまざまなことを学んでいく。保育者として、子どもの遊びの質を高めるには、どのような環境を用意する必要があるか等、幼児の発達を考慮した環境構成のあり方を学び、それを生かした指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。

学習の到達目標

乳幼児期の発達の観点から、環境の持つ意味や子どもと環境のかかわりについて考察する。幼稚園教育要領や保育所保育指針における保育内容「環境」のねらいや内容を理解し、幼児のより良い発達を支える環境構成の考え方や能力を身に付け、幼稚園教育要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践力を身につける。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：授業の目的および内容の説明、成績評価について説明をする。
- 第2回 子どもの「遊び」の変容：
社会環境の変化がどのように子ども達に与える影響を考察し、子どもの「遊び」の変容を検討する。
- 第3回 保育内容「環境」のねらいと内容：
保育内容「環境」のねらいと内容を理解し、環境を通して行う教育とは何かについて考察する。
- 第4回 自然体験の重要性：「フィールドビンゴゲーム」から、自然体験の意義を探る。
- 第5回 自然環境とのかかわり：自然物を取り入れた遊びを考える。
- 第6回 身近な科学遊び：好奇心や探究心を育む遊びについて考察する。
- 第7回 園における栽培活動：四季の植物を知り、栽培方法への理解を深める。
- 第8回 園における飼育活動：飼育活動を通して、乳幼児期における道徳性の芽生えを考察する。
- 第9回 子どもにとっての園生活とは：入園から卒園までの1年間の保育記録を見て、園生活への学びを深める。
- 第10回 園内の環境構成と留意点：
入園から卒園までの1年間の保育記録を見て、園内の環境構成について考察する。
- 第11回 模擬授業演習(1) 身近な素材 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第12回 模擬授業演習(2) 数量・図形・標識・文字 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う
- 第13回 模擬授業演習(3) 園内・園外行事 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 子どもと地域の役割：子どもが地域の人々や様々な場所とかかわる活動の保育的意義を考察する。
- 第15回 子どもと環境のまとめと振り返り；授業の総括として、これまで身につけた知識をもとにして、保育内容の5領域との関連について理解し、小学校教育との教育内容の接続・連携についても考える。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(40%)
さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(60%)

授業時間外の課題

予習では、授業の事前にテキストを読んで用語や語句への理解を深め、要約をしておくこと。
復習では、授業後の提出課題を行うこと。
学習指導案作成の際には、『幼稚園教育要領』を参照し、指導内容を確認し活用すること

メッセージ

教材・教科書

ふくろう出版、岡野聡子著(2013)「子どもと環境～身近な環境とのかかわりを深めるために～」ERPブックレット

参考書

文部科学省 幼稚園教育要領